

滋賀県環境放射線テレメータシステム更新整備事業 質問への回答

No.	頁	項目	質問	滋賀県回答
1	9	第2章 8 電源	(3)各機器が必要とするアース接地工事を行うこと。 現地施工済の接地種別についてご教示願います。 今回選定する機器が必要とする接地種別が既設にある場合は、アース接地工事は行わず、既設に接続させていただきます。	現地施工済の接地種別は「D種接地」です。 今回選定する機器が必要とする接地種別が既設にある場合は、既設流用可能です。
2	12	第3章 2 システム構成	(2)中央統制局 びわ湖放送様とのIF(送信データファイルフォーマット、データ内容等)をご教示願います。	通信回線:インターネット接続回線 データファイル:CSVファイル データ内容:各局の低線量率データ・感雨雪データ、日時 送信頻度:10分
3	14	第4章 3 テレメータ子局の機能	(1)データ収集機能 下記データ収集項目について、測定器とテレメータ子局装置間のIF(送信データファイルフォーマット、データ内容等)をご教示願います。 ア 線量率 イ 計数率 ウ 通過率 エ MCAデータ オ 感雨雪	別添資料をご確認ください。
4	14	第4章 1 構成	本システム運用開始後、既設流用機器の故障時の責任元は滋賀県様でよろしいですか。 なお、トラブル発生時には調査する対象機器とするものとします。	既設機器も一体のシステムであることから、保守管理の対象とします。 仕様書P6 第1章 16保証期間および保守管理をご確認ください。 ただし、機器の大幅な修理、高額部品の交換等相当の経費を必要とするものについては、別途協議とします。

No.	頁	項目	質問	滋賀県回答
5	17	第4章 5 設備仕様 5.2 機器仕様	(5)電源設備 ア UPS装置 UPS装置の容量を選定するため、流用する機器の電源容量(消費電力)をご教示願います。 a 低レンジガンマ線モニタ b 高レンジガンマ線モニタ c 感雨雪器	低レンジγモニタと高レンジγモニタについては、単品での消費電力は測定しておらず、計器ラック全体での消費電力は以下のとおりです。 計器ラックの消費電力(低レンジγモニタと高レンジγモニタ含む):500VA 感雨雪器の消費電力:92VA 現在、「2kVA」のUPSを使用しています。同等容量以上のUPSの選定をお願いします。
6	21	第5章 2 中央統制局の機能 2.1テレメータ親局の機能	(4)外部へのデータ通信機能 ア 関係機関へのデータ提供 一定期間(最長で1ヵ月)の測定データを、インターネットで経由した電子メールを活用して関係機関へ定期的に提供できるものとする。 とありますが、データの提供方法をご教示願います。(テキストファイルの送信又は、帳票(Excel)を添付して送信するなど)	帳票(Excel)を添付し、送信できるものとします。
7	21	第5章 2 中央統制局の機能 2.1テレメータ親局の機能	(4)外部へのデータ通信機能 メールの送信方法について、メールは自動で送信するものでしょうか。又は、上記で作成した測定データを職員様が添付して、手動で送信するものでしょうか。	メールについては、自動で送信できるものとします。
8	21	第5章 2 中央統制局の機能 2.1テレメータ親局の機能	(5)警報管理機能 イ 管理警報 b 設定値は測定データ各々につき任意設定とする。 とありますが、これは、測定局、測定項目、データ種別(2分値、10分値、1時間値)ごとに設定できるという考えで問題ないでしょうか。	問題ありません。

No.	頁	項目	質問	滋賀県回答
9	24	第5章 2 中央統制局の機能 2.2原子力防災端末の機能	(1)データ監視機能 エ 送信データ管理機能 について これほどのような機能かご教示願います。 また、送信データの送付先をご教示願います。	各測定局から中央統制局に送信されたデータ(線量率(低)、線量率(高)、計数率等)を原子力防災端末で表示し、オペレータが欠測や異常値を識別できるようにする等のための機能です。 このため、本項におけるデータの送付先は中央統制局です。

滋賀テレメータ 計測器～子局装置間 I/F 資料

計測器～子局装置間に関連するシステム概略図を以下に示す。

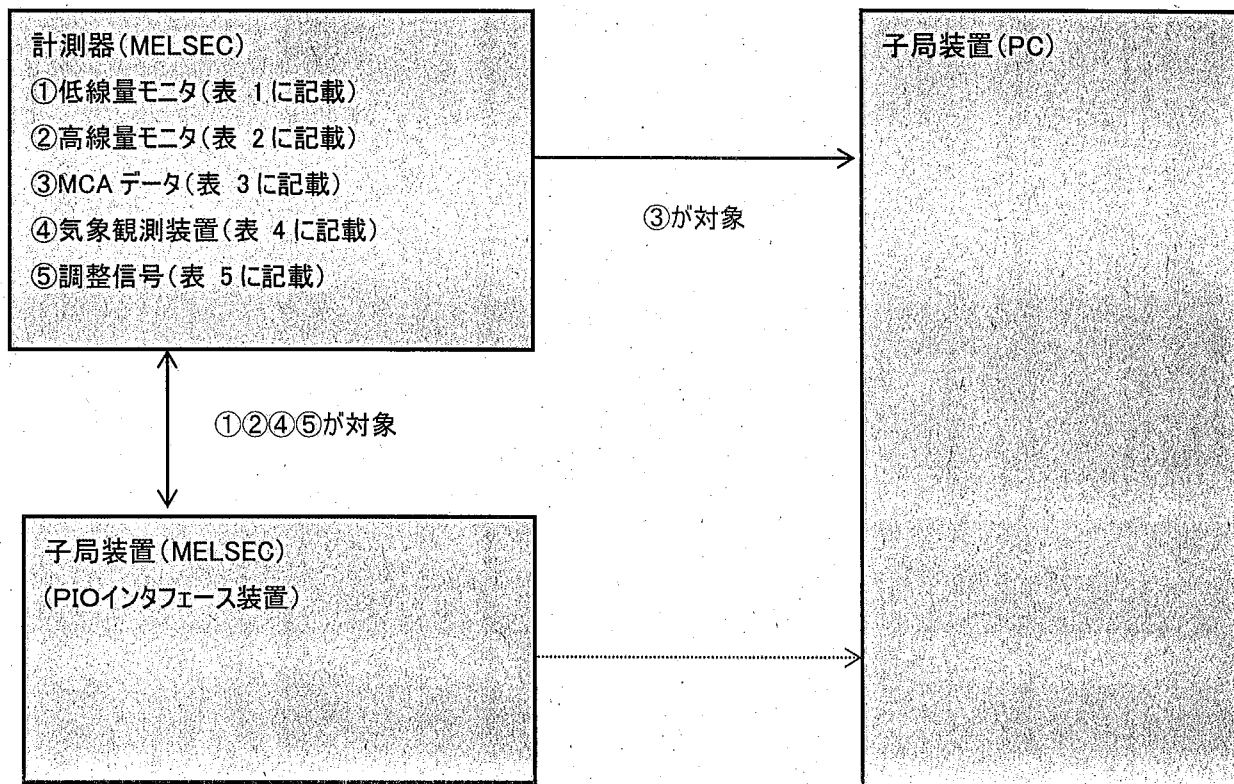


図 1 システム概略

データ仕様

デバイス割付表

低線量モニタリングポスト、高線量モニタリングポスト及びPIOインタフェース装置内のデータ格納位置を以下に示す。

下記表の概要は以下の通り。

- 表 1: 低線量モニタ測定値(デジタル入力)データ
- 表 2: 高線量モニタ測定値(デジタル入力)データ
- 表 3: 低線量モニタ測定値(アナログ入力)データ MCA データ
- 表 4: ステータス(デジタル入力)データ 感雨データ含む
- 表 5: ステータス(デジタル出力)データ

測定値(アナログ入力)データ

測定値データはファイルレジスタ(FM)領域に割当ててる。

1 デバイスは 16bit とする。

表 1 低線量モニタデバイス割当て番号(線量率等)

デバイス番号	項目/テレメータ側からの倍率	単位	データ種別
R7600	線量率 2分値データ	X1	nGy/h
R7602	全計数率 2分値データ	X1	cps
R7604	SCA1 2分値データ	X1	cps
R7606	SCA2 2分値データ	X1	cps
R7608	SCA3 2分値データ	X1	cps
R7610	SCA4 2分値データ	X1	cps
R7616	通過率 2分値データ	X1	%

表 2 高線量モニタデバイス割当て番号

デバイス番号	項目/テレメータ側からの倍率	単位	データ種別
R7600	高レベル線量率 2分値データ	X1	nGy/h

表 3 低線量モニタデバイス割当て番号(スペクトル最新)

デバイス番号	項目/テレメータ側からの倍率	単位	データ種別	
D50101	月日		MMDD(10進数)	
D50102	時分		HHMM(10進数)	
D50110	装置ステータス		1の位=無し(0)、線量率高(1)、線量率低(2) 10の位=無し(0)、線量率高(1)、線量率低(2) 100の位=無し(0)、検出系(1)、測定系異常(2)、検出系および測定系異常(3) 1000の位=無し(0)、準備中(1) 1000の位=無し(0)、調整中(1)	
D50112	総線量(未使用)		32Bit 整数符号付き	
D50114	計数率(未使用)			
D50116	温度(未使用)			
D50120	スペクトル 10分値データ ch0	X1	count	32Bit 整数符号付き (※1)
D50122	スペクトル 10分値データ ch1	X1	count	
D50124	スペクトル 10分値データ ch2	X1	count	
D52064	スペクトル 10分値データ ch1022	X1	count	
D52066	スペクトル 10分値データ ch1023	X1	count	
D52198	チェック用月日		MMDD(10進)	
D52199	チェック用月日		MMDD(10進)	

※1: 下位のアドレス側(例: D50120)に Lo、上位アドレス(例: D50121)に Hi の並びにあるものとする。

表 4 測定値(デジタル入力)データ

デバイス番号	項目	単位	データ種別
M001	低レンジ検出部異常	なし	ON/OFF
M002	低レンジ測定部異常	なし	ON/OFF
M003	低レンジ検出部温度高	なし	ON/OFF
M004	低レンジ検出部温度低	なし	ON/OFF
M005	低レンジ高圧電源異常	なし	ON/OFF
M006	低レンジ低圧電源異常	なし	ON/OFF
M007	低レンジ調整中	なし	ON/OFF
M008	高レンジ検出部異常	なし	ON/OFF
M009	高レンジ測定部異常	なし	ON/OFF
M010	高レンジ検出部温度高	なし	ON/OFF
M011	高レンジ検出部温度低	なし	ON/OFF
M012	高レンジ高圧電源異常	なし	ON/OFF
M013	高レンジ低圧電源異常	なし	ON/OFF
M014	高レンジ調整中	なし	ON/OFF
M015	測定局扉開	なし	ON/OFF
M016	エアコン異常	なし	ON/OFF
M017	感雨 *2	なし	ON/OFF
M018	商用電源断	なし	ON/OFF
M019	自家発電設備運転中	なし	ON/OFF
M020	自家発電設備故障	なし	ON/OFF
M021	予備	なし	ON/OFF
M022	予備	なし	ON/OFF
M023	予備	なし	ON/OFF
M024	予備	なし	ON/OFF
M025	予備	なし	ON/OFF

デバイス番号	項目	単位	データ種別
M026	予備	なし	ON/OFF
M027	予備	なし	ON/OFF
M028	予備	なし	ON/OFF
M029	予備	なし	ON/OFF
M030	予備	なし	ON/OFF
M031	予備	なし	ON/OFF
M032	予備	なし	ON/OFF

*2: 感雨信号はデジタル入力とするが、アナログデータとしてデータ収集・伝送サーバに出力する。

表 5 測定値(デジタル出力)データ

デバイス番号	項目	単位	データ種別
M034	調整中リセット	なし	ON/OFF
M035	時間調整(1時間リセット)	なし	ON/OFF